

つたえるけん 壱岐市



こばやしのがゆき
今月のつたえるひと 小林伸行さん

山口県萩市出身。2018年、31年間勤務した民間企業を退職し、壱岐市の地域おこし協力隊として壱岐市に移住。壱岐テレワークセンターで活動を始め、一般社団法人壱岐みらい創りサイトの業務にも関わる。

テレワークセンターを拠点に「学びの島」を目指したみらい創りが進んでいます。

住民の対話から生まれた まちづくりのアイデアが実現

2015年に壱岐市と民間企業が連携して始めた「壱岐みらい創りプロジェクト」というまちづくりプロジェクトがあります。これは住民を中心とした対話会を通じてテーマを定め、その実現に向けて官民協働で取り組むというものです。

ある対話会の中で、高校生の「壱岐を学びの島にしたい」という意見がきっかけで始まったのが、国の特別史跡「原の辻遺跡」を舞台にした歩行ラリーを盛り込んだ人材育成プログラムです。歩行ラリーでは、各グループが途中で与えられた課題を解決しながら目的地を目指すといった一連の活動を通して、組織で必要な力を身に付けていきます。

私は当時働いていた会社でこのプログラムを担当し、壱岐市と関わるようになり、美しい自然やおいしい食べ物に恵まれた壱岐の魅力に触れ、人材育成プログラムにもやりがいを感じたため、会社を早期退職し、地域おこし協力隊として移住しました。現在は、主に福岡市の企業などに合宿形式の研修プログラムやワーケーション（仕事をしながら休みも楽しむ）の提案などを行っています。壱岐は博多港から高速船で約1時



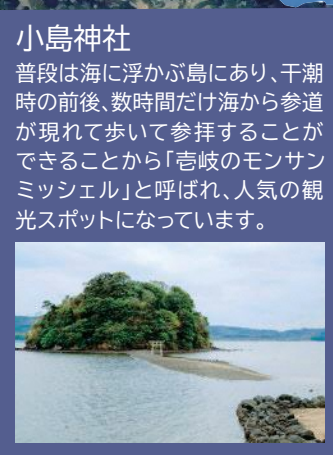
左京鼻

壱岐を代表する景勝地のひとつで、断崖絶壁の光景が約1km続いています。海中から突き出る細い柱が連なったような奇岩は「観音柱」と呼ばれています。



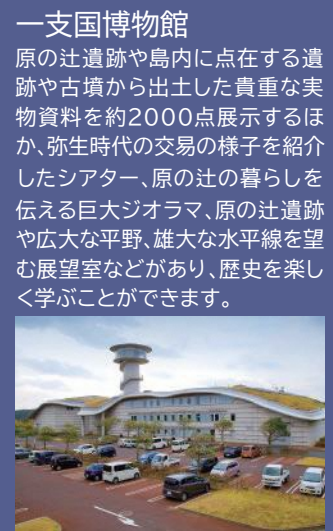
原の辻 一支国王都復元公園

魏志倭人伝に登場する「一支国」の王都を原の辻遺跡内に復元した公園で、王都の中心域や建物が復元されているほか、発掘調査で見つかった土器を見ることができ、遺構露出展示コーナーもあります。

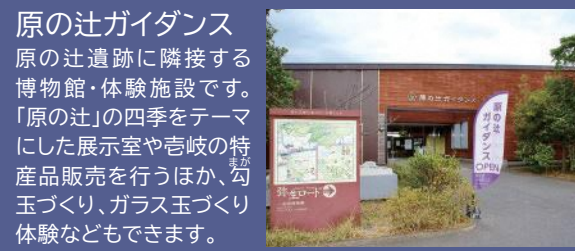


小島神社

普段は海に浮かぶ島にあり、干潮時の前後、数時間だけ海から参道が現れて歩いて参拝することができることから「壱岐のモンサンミッシェル」と呼ばれ、人気の観光スポットになっています。



一支国博物館
原の辻遺跡や島内に点在する遺跡や古墳から出土した貴重な実物資料を約2000点展示するほか、弥生時代の交易の様子を紹介したシアター、原の辻の暮らしを伝える巨大ジオラマ、原の辻遺跡や広大な平野、雄大な水平線を望む展望室などがあり、歴史を楽しく学ぶことができます。



原の辻ガイダンス
原の辻遺跡に隣接する博物館・体験施設です。「原の辻」の四季をテーマにした展示室や壱岐の特産品販売を行うほか、勾玉づくり、ガラス玉づくり体験などもできます。

壱岐市のお土産

一支国博物館
オリジナル商品 人面石クッキー

原の辻遺跡から出土した人面石を原寸で再現したクッキーで、大人の手のひらほどのボリュームがあります。原の辻で栽培された古代米など壱岐島の自然の恵も原材料として使用。バター味と塩味の2種。



問合せ：壱岐市立一支国博物館
☎0920-45-2731

表紙のはなし『はらぼげ地蔵』

名前の通り、腹が丸くぼげている（えぐられている）6体のお地蔵様で、“海女の里”として知られる八幡浦の浅瀬に鎮座し、満潮になると胸まで海に浸かります。地元では遭難した海女さんやクジラの供養のために祭られていると伝わっています。

壱岐の食材で元気になろう！ 壱岐なお取り寄せ

壱岐の生産者や事業者の商品の販路拡大を目的に設立された壱岐市ふるさと商社。運営するお取り寄せサイト「壱岐なお取り寄せ」では、海産物、壱岐牛、麦焼酎など、壱岐の特産品を販売しています。



問合せ：☎0920-48-2501
（壱岐市ふるさと商社）



歴史のロマンを体感しながら歩こう！ 原の辻ウォーク2021

原の辻遺跡とその周辺を散策して歴史を体感するウォークイベントです。申込み方法や詳細は原の辻ガイダンスまでお問い合わせ下さい。



日 時：3月6日（土）9時～13時
場 所：原の辻遺跡周辺
問合せ：☎0920-45-2065（原の辻ガイダンス）
※イベントは中止になる場合があります

間とアクセスが良く、観光はもちろん研修場所としても最適です。研修拠点となる壱岐テレワークセンターも住民のアイデアから生まれた施設です。原の辻遺跡近くの倉庫を改修した建物で、開放感と非日常が味わえます。また、さまざまな所属やバックグラウンドを持つ人々が共に働くワークスペースや、企業などが入居できるサテライトオフィスのほか、島外の人と地元の人が交流できる場もあります。うれしいことに、継続して研修に利用してくれる企業が増え、口コミで新たな参加企業も増えています。今後は「学びの島」としての壱岐をもっと多くの人たちに認知してもらい、壱岐に関わる人や企業を増やしていくのが目標です。